



東野歌舞伎を披露

10月30日、東野歌舞伎公演が東野小学校体育館で開かれ、東野の住民など約300人が地元の歌舞伎を楽しみました。

公演では、東野小学校4～6年の歌舞伎クラブ児童による「白波五人男稲瀬川勢揃いの場」での粋な舞台や、東野小学校英語指導員カート・ランドさんの「お目見えだんまり」への挑戦などに、客席からは歓声が起こり、おひねりが飛ぶなど舞台、客席が一体となって会場を盛り上げました。

東野小学生による「白波五人男稲瀬川勢揃いの場」



おんさい工房オリベ大賞に

10月22日、明智町「おんさい工房」が第19回岐阜県農業フィスティバルで、岐阜県農林水産オリベ賞大賞を受賞しました。

「おんさい工房」は、明智町内の農村女性が立ち上げた農事組合法人で、町内の農産物を原料に手作りの安全・安心な商品の開発・加工・販売を行っています。農村女性の感性を生かした経営とともに、地域住民の自発的な活動が、農山村の活性化に功績があったと評価され、オリベ賞大賞に選ばれました。

表彰を受ける山田香代子さんと山内絹代さん

中山道の歴史を体感

10月30日、中山道かたりべの会の案内で「かたりべと歩く中山道」が開催されました。

中山道かたりべの会（西尾重人会長）は、年2回ウォーキングを開催しており、武並駅から恵那駅へ向かうコースは今回が初めて。参加者は武並駅から恵那駅までの約10kmをかたりべの会ガイドボランティアの説明や物語を聞きながら散策し、一里塚、茶屋跡、乱れ坂の急な坂を登るなど江戸の旅人気分が秋晴れの中山道を楽しみました。



武並町の史跡三社灯ろうの説明を受ける参加者ら

森の健康診断を実施

土岐川・庄内川源流森の健康診断実行委員会は、10月29日に恵那市から瑞浪市にかけての約1.5万㎡に及ぶスギ・ヒノキ人工林で森林調査「森の健康診断」を実施しました。

ボランティアや研究者など約240人が19グループに分かれて森を歩き、人工林の混み具合調査や水の浸透時間の測定などを行うと、「手入れが行き届かず、森の役目を果たすには厳しい状況にある」との声が上がるなど、林業に対する課題の大きさを知りました。



樹木の胸高直径を測る調査



地元の野菜はおいしいよ

11月3日、中野方町不動滝直販所で感謝祭が行われ、多くの客でにぎわいました。不動滝直販所は「丹精込めて作った野菜を皆さんにも分けてあげたい」という思いからスタートし、今年で15年目を迎えました。当日は雨が降る中、大勢の客が訪れ、豚汁のサービスでおもてなしを受け大満足。地元で採れた新鮮な野菜の販売や、いもごねもちや五平もちの販売、空くじなしのスピードくじなど趣向を凝らしたイベントになりました。

焼きたてのいもごねもちや五平もちも大盛況



念願の新弁天橋が完成

上矢作町内の国道418号バイパス建設に伴い、架け替えられた新弁天橋で、10月29日完成式が行われました。

新弁天橋は長さ75m、幅12～15m、国道257号から418号バイパスに架かる橋で、約7年間をかけて建設されました。当日はあいにくの雨の中、関係者約50人が完成式に出席。最後に、上矢作町内の小木曾貞夫さん、紀久子さんら3世代夫婦を先頭に、地元の方も多数参加して、渡り初めが行われました。

小木曾貞夫さんと紀久子さん夫妻を先頭に渡り初め



いい味してる恵那のみそ

11月14日、武並小学校の5年生児童35人が武並町竹折のみそ加工所を訪れ、学校給食で使われているみそについて作り方、材料など直接生産者から学びました。

児童らは質問などから衛生面の注意や添加物を使わないこと、地元の安心な材料を使うことなど、安心な食材のための心掛けを学びました。みそ加工所の見学の後、給食では地元食材を使った「みそけんちん汁」などを食べながら農産物生産者と交流を図りました。

学校給食に使われるみその加工所を見学する児童ら



この柿渋い? 甘い?

11月5日、誘遊フェスタinおさしまが開催され、小学生ら約350人が長島小学校校舎・体育館に設けられたクイズや工作、ゲームを楽しみました。五感を使うクイズを解き、自分で作った弓矢、パラシュートなどの道具でゲームに挑戦。見事クリアするとゴールでほかほかの焼き芋が食べられます。子どもらは味覚の部屋で渋柿に顔をしかめたり、工作の部屋で弓矢を作ったりとさまざまな体験を楽しみました。

この柿の味は? 味覚クイズで渋柿と甘柿を食べる児童ら

地域で支えた20年間

11月16日に開業20周年を迎える第3セクター明知鉄道(株)は、明智文化センターで記念式典、写真や鉄道の機器で20年の歩みを振り返る展示などを開催しました。

式典では関係者150人が出席する中、国土交通省から明知鉄道へ15年間無事故による優良事業者表彰が伝達されたほか、可知義明社長から鉄道沿線の美化や運営に協力された皆さんに感謝状が贈られ、参加者は、マイルール意識の高揚と協力の推進を確認しました。



地域の皆さんに支えられ20年目を迎えた明知鉄道

秋の夜長を読書で

11月5日、6日に恵那市図書館まつりが恵那文化センターで開かれ、多くの来場者でにぎわいました。

6日に開催された「古本リサイクル市」では、図書館で廃棄処分となった本や市民から提供のあった本約4500冊の中から、一人5冊まで無料で入手できるということで、会場に集まった約450人の来場者は、読み逃していた小説や子ども向けの本などを真剣に選んでいました。



約4500冊の本が並んだ会場



版画でクリスマスカード

11月19日、中山道広重美術館で「こどもびじゅつかん2005版画でクリスマスカード」が開催され、12人の親子が版画の原版づくりに挑戦しました。

参加者は、ボール紙、ボタン、クリップなど身近な材料を使い、雪だるまや長靴、来年のえとの犬などを題材に多い人で1人6枚ほどの版画の原版を作りました。自宅から毛糸やフリルを持参するなど、皆さん手作りで個性的な作品に仕上げていました。

版画見本からイメージをふくらませる参加者ら



早期撤去を求め申し入れ

恵那市議会議長と水道環境委員会は、三郷町野井地内に搬入が確認されたフェロシルトについて11月10日、製造元の石原産業(株)四日市工場を訪れ、早期撤去を求める申し入れを行いました。石原産業が社会的責任を果たすためにも、使用実態の調査、安全性の確保、全量撤去について期限を定めて実施するよう申し入れ、石原産業からは「早期撤去に向け努力する。撤去時期については岐阜県と協議する。」との回答がありました。

石原産業に対し申し入れを行う、恵那市議会